

小樽南ロータリークラブ会報

ホームページ <http://rid2510.org/otarusouth/>

32
2014年2月28日発行

昭和35年2月5日

●例会場/ニュー三幸 ●例会日/毎週金曜日12時30分 ●事務局/〒047-0032 小樽市稲穂1-3-6 ☎0134-33-3500

●2013-2014年度 Rotary International テーマ



Engage Rotary Change Lives

「ロータリーを実践し みんなに豊かな人生を」

ロン D. バートンRI会長

強調事項 RI第2510地区 安孫子 建雄 ガバナー (江別RC)

- ロータリーの基本を見つめ 変革するロータリーを実践しよう
- 「RIテーマ<ロータリーを実践し みんな豊かな人生を>の理解を深めクラブと地域そして世界で活躍するロータリアンになろう」

●今日2月28日(金)のプログラム

◎クルーズ客船での船旅の概要

スピーカー 加藤 武氏
(株) JTB北海道 クルーズ企画営業課長

●来週3月7日(金)のプログラム

◎第54回小樽市内高校優秀卒業生表彰

●再来週3月14日(金)のプログラム

◎「小樽水族館と私(仮)」

スピーカー 小田 誠氏
(株)小樽水族館公社 館長

●第31回例会報告 2月22日(土) 「3C合同例会」「小樽市民国際交流会議」



ロータリー
創立記念

小樽3クラブ合同例会

と き 平成26年2月22日(土) ところ グランドパーク小樽

■点 鐘■

■国歌・ロータリーソング■ 「奉仕の理想」

■会長所感■ 吹越会長



ロータリー創立記念例会が例年通り小樽3クラブ合同でグランドパーク小樽にて開催されました。例会は盛大なうちに親睦の輪を広げ絆をより一層強固なものにいたしました。

さて、私共小樽南ロータリークラブが立案提案した小樽市民国際交流会議に対する呼びかけに応じていただき、3クラブが力を合わせ初期の目的をクリアしたと感じることが出来ました。メインテーマ「築こう世界の相互理解進めよう積極的国際交流を」でありその上でデスクッションテーマを3グループに分け、コーディネーター・通訳・書記を配し、万全な態勢で会議が進行しました。

私、小樽南ロータリークラブの会長としてB=日本の教育について=の部門の総評と云うことで書記のよりメモのもと論旨をまとめ発表させていただきました。

B 日本の教育 (Education in Japan)

・スポーツや音楽は精神面の強化に有効。・体力の強化、チームワークに効果、上下関係の勉強になる。・パソコン・携帯など孤立化孤独化・・・精神的な強化が必要。・よく遊びよく学ぶ基本・教育と経済はリンクする又都市部はレベルが高い少数学級ほどレベルアップする。・英語教育に大切であるが、まず母国語の強化が水準を上げる。

※数学者の藤原正彦氏の言にある=国語と漢字をしっかり身につけよ=であります。

I.家庭で躰けが一番大事 II.学費が高い補助が必要 行政・自治体・学校・ロータリーにも奨学金制度ありご相談あれ。

①社会から求められる大学教育とは

・基礎学力の強化、又一般教養を全学生に望む。・企業により専門科目に対する応用力の強化

②教育の地域格差をどう解消するか

・教育行政の責任のあり様で変わる。・文科省の方針次第で大きい変わる。

③日本人の海外留学生の減少について考える

・失われた20年。・デフレにより経済的負担増。・青年は冒険心と大志を持って。

以上のように日本人の勤勉さと努力によってこれらのことを受け前向きに進んでいただきたいと感じとりました。

■メーキャップ受付■ 2月21日(金)分

海老名 健氏、吉村 克之氏、平松 正人氏、村住 俊幸氏、泉 佑氏 (小樽RC)

■3クラブ合同例会 記念講演



「活発な国際交流」

～旅と異文化体験は、心に響く学生のうちが一番です～

国立大学法人小樽商科大学
国際交流センター長商学科教授

穴 沢 眞 氏

国際交流センターの任務は国際交流の企画立案、外国人留学生の受け入れ、留学生派遣、教員の海外研修や研究交流のバックアップなど多岐にわたります。現在、本学には約90名の外国人留学生がいますが、センターではさまざま形の奨学金、留学生寮、チューター制度などでひとり一人をサポート。チューター制度では、希望する商大生が勉強・生活の両面で補佐役を務め、学内における国際交流の担い手として活躍しています。

本学には、海外の協定校と同数の学生を交換して、それぞれに1年間も留学を可能とする「交換留学生制度」と夏休み・春休みを利用して外国の大学や語学研修期間で学ぶ「短期語学研修制度」があります。

小樽 R C
小樽南 R C
小樽 鏡函 R C

小樽3C合同例会懇親会



3クラブ皆で、手に手つないで！



●小樽3ロータリークラブ主催

「小樽市民国際交流会議」開催

岡崎芳明実行委員長挨拶

「国際交流や日本の教育、小樽観光の3つのグループに分かれ、海外の方々とのディスカッションを通して、日本人だけの考え方だけではなく、海外の皆さんの考え方を参考にすることで、今後の国際化の波に対応しつつ、小樽活性化のためにも有意義な話合いとなることを期待しております。(中略)

※詳細につきましては後日「報告書」を作成いたします。



●基調講演 湯谷 拓朗氏

◆テーマ「国際交流」
阿部コーディネーター
東セレクトリー



◆テーマ「日本の教育」
村越コーディネーター
鈴木セレクトリー



◆テーマ「小樽観光」
永原コーディネーター
廣部セレクトリー



●グループディスカッション

●記事担当/東会員